

12 食品安全委員会×うんこドリル

～食品安全委員会が「うんこ」とか言って、いいんかい?～

食品安全を学ぶきっかけに

普段、食品安全について知る、考える機会が少ない中、こどもの頃から食品安全について学ぶきっかけを作りたい。そんな思いから、小さなこどもたちから中高生まで幅広い世代に親しまれている「うんこドリル」シリーズに、食品安全委員会監修の『食べ物のひみつ 安全編』が誕生しました。

うんこ先生、うんこねこ、うんこいぬによる、ユーモラスながら意外にまじめなやりとりとカラフルなイラストを通して、

- ① 食べることにほんないいことがあるのか
- ② 食べ物には体によくないものも入っていること
- ③ 入っている＝キケン?
- ④ 誰が食べ物の安全を守っている?
- ⑤ 食べ物の安全のためにキミにできることは?

という内容を学べます。クイズ形式となっており、こどもたちが自ら考え、学べる構成になっています。

また、さまざまな食べ物の安全は、生産者、事業者、行政、そして消費者を含む多くの人々の協力によって成り立つことを楽しく学んでいただける一冊です。

「量の視点」の重要性

これまで食品安全委員会は、リスクコミュニケーションの一環として、「量の視点」の重要性について意見交換会やSNSを通じて発信してきました。

「量の視点」とは、食品の安全性を考えるうえで、危害につながりうる成分の有無だけではなく、安全を確保できる摂取量を知ること、必要以上に恐れを感じずに、適度な注意を持って対処することができるというリスクの基本的な考え方です。

食品安全を考える際には、体に取り込む化学物質や微生物などの量を意識することが大切です。しかし、「〇〇が含まれる食品は体に悪い」といった情報に触れると、体に取り込む量のことは考えず、それだけで不安を感じてしまう方もいます。

あわせて、食品の安全に関する判断の基礎となる「リスク評価」を食品安全委員会が行っていることについても知ってもらえたら、という思いが込められています。食品に関する事件や事故が起きた時だけでなく、平時からうんこ先生とともに学び、笑いながら食品安全について理解を深めていただければ幸いです。学校や家庭での学びにぜひご活用ください。



「食べ物のひみつ安全編」
A5サイズ16頁
監修：食品安全委員会
発行元：文響社



<https://www.fsc.go.jp/kids-box/>

※『食べ物のひみつ 安全編』は、非売品です。食品安全委員会のホームページからご覧いただけます。配布や内容に関する問い合わせも受け付けております。